

一九〇三年 Forel は聖彼帝、博物館所藏標本を検す、内に樺太所産の品四あり。(Ann. Mus. Zool. Acad. Imper. Soc. St. Petersburg VIII.) 同年 Mandro は公使アルマン採集する所の標本を記せり。(Jull. Mus. d' Hist. Paris.) 一九〇六年に至り W. M. Wheeler は上記諸家の研究の結果を輯成し、加ふるに H. Sauter, J. H. Abbott 其他の採品を以てし、新種八、新變種二を記せり、茲に本邦産蟻類研究の基礎成れるが如きも亦議す可きもの少なからず。(Jull. Ann. Mus. Nat. Hist. XXII.)

一九〇七年 Forel は再びハンブルグ博物館の標本を検じ一新變種を記す。(Mittl. Naturhist. Mus. Hamburg.)

一九〇九年 Wheeler は Sauter 採集する所の臺灣産蟻類二十を記す、内に二新種二新變種あり、是れ實に臺灣の蟻を記録する者の初めなり。(Jull. Amer. Mus. Nat. Hist. XXIV.)

一九〇八一—一九〇九年 Emery は Deutsche Entomologische Zeitschrift 誌上に於て舊北州産蟻類誌を公にす。是は現時に於て最も完全に近き分類を記せる者にして舊日本所産の物は凡て是に含まる。

三、日本産蟻類目録

予が自ら得たる標本によりて検出せる品は五十に満たざれども、上記典籍に載録せらるる者を加ふれば日本版圖に産する蟻類は七十七種を算するを得。此他未だ細檢の

暇を有せず茲に發表し得ざる者三十に下らず、是等は他日研究の上附加する事となし、茲には唯現今迄知られ居る蟻類目録を公にせん。表中屬名のみを記して種名なきものは凡て新種を信する者にして他日記載と共に發表す可き者なり。

和名は甚だ普通にして日常接遇する事多き者のみに是を付す是れ素人觀察家の便をはかりてなり、故に多く名により實物を聯想し得べきものをとる、勿論蟲譜圖說以下の書に是を求めたれども用ゆべきもの少なきにより是を基礎として自ら制定する所なり。

Form. POLYMICHTAE. マリ科

Subfam. PONERINAE. ハリマリ亞科

1. *Symplicta watasei* Wheeler.

本島中部及西部。

2. *Lobopelta chinensis* Mayr.

日本、支那、印度。

3. *Pachycondyla (Ectonomyrax) japonica* Emery.

|| *Ectonomyrax japonicus* Emery.

對馬。

4. *Pachycondyla (Pseudoponera) sauteri* Wheeler.

本島中部。

5. *Ponera (Brachyponera) solitaria* (Smith)

|| *Ponera solitaria* F. Smith.